

保健情報だより

令和元年9月
こども未来部保育課

このたよりは、保育園等の職員が共通理解しておきたいミニ保健情報を載せて不定期に発行しています。今回は「保育施設における事故予防」「応急手当」についてです。



1 保育施設等における事故予防について

9月9日は救急の日です。この機会に保育施設内の救急用品の確認や救急車要請の訓練、生活環境についての再確認を行い、事故予防に対する意識を高めましょう。

昨年度の「重大事故」で、下記のような「生活環境の再確認」につながる事例がありました。

類似したタオル掛けを使用している保育施設は注意してください。また、事故事例を参考に、保育室内や廊下に設置しているフックやカバン掛け等に危険はないか、その他の身近なものに危険性はないかを再確認し、安全に過ごせる環境を整えましょう。

事
故
事
例

タオル掛けのフックがまぶたに入り裂創！

【事故概要】

園児（3歳男児）が、保育室の隅に置いてあったタオル掛け（カバン掛けとして使用）とロッカー・絵本棚の間に入ったところ、一番端のフックが左まぶたに入り裂創。左まぶたの両端・内側・外側が切れているため、全身麻酔で手術を行った。

ロッカーとタオル掛けの位置関係



受傷したタオル掛け



この部分がまぶたに入ってしまった

【保育施設での対応策】

- ・受傷したタオル掛けと同じ製品は全て撤去。安全性の高い製品を購入し、設置場所を検討。

お散歩・園外保育の事故予防について

これからの時期、お散歩や園外保育に出かける機会も増えてくると思います。

「事故防止及び対応マニュアル」P7で注意事項及び留意点を再確認しましょう。

安全な散歩経路や目的地の危険個所の事前確認を必ず行い、安全で楽しいお散歩・園外保育になるようにしましょう。



★119番通報 4つのポイント★

あわてずに、落ち着いて、係員の質問に答えましょう

① 救急のとき「**救急です**」
火事の時「**火事です**」



② **園名・住所を伝える**



落ち着いた正確な通報ができるよう、電話の近くに、園名・住所・目標物・電話番号等が記載された119番通報メモを用意しておきましょう

③ **病気、けがの状況を伝える**

「いつ」「どこで」「だれが」
「どうして」「現在どのような状態か」

*エピペン®の処方やエピペン®の使用の有無を伝える



④ **連絡者の名前・連絡先**



2 応急手当について

保育現場で多くみられる切り傷、擦り傷、ひっかき傷などは以下の点に留意し処置しましょう。

1) 手当の前に

- ・血液に触れることがあるので、手袋などを使いましょう。

2) 流水で、汚れや血液を洗い流し、傷の状態を確認します。

- ・大きな傷、深い傷、動物に噛まれた傷、出血がひどい時などはすぐに受診しましょう。

3) 止血する

- ・傷口を圧迫しても支障のないことを確認し、滅菌ガーゼなどで押さえ、圧迫して止血します。

4) 止血後、傷口とその周囲の汚れをしっかりと洗い流しましょう。

- ・傷のまわりが汚れているとなかなか治りません。

5) 傷口を滅菌ガーゼで覆い、その上から包帯などで圧迫するように巻き、必要に応じて医療機関を受診しましょう。



保健情報だより

令和元年10月
こども未来部保育課

このたよりは、保育園職員が共通理解しておきたいミニ保健情報を載せて不定期に発行しています。



1 子どもにとって、安全な保育環境づくりを目指しましょう

日々の保育において、安全への配慮や事故防止対策は子どもの命を守るうえで何よりも大切なことです。

保育課で作成しました「教育・保育施設等における事故防止及び対応マニュアル」を保育者全員で確認し、子どもの安全確保のための環境づくりに向け、日常生活やあそびの中にある危険、運営上留意すべき点について再確認していきましょう。

また、事故後は事故の記録をし、職員全員で事故検証を行い、再発防止策をたてていきましょう。

事故が多くなる時

- ・活動が活発になる時期や、園行事の多い5，6，9，10月頃
- ・時間帯は9時半～12時頃までと降園時間が近づく15時～16時頃

2 インフルエンザに注意しましょう



10月に入り、保育施設からインフルエンザの発生報告がきています。これからインフルエンザの流行する季節となります。手洗いの徹底に加え、施設の温度、湿度や換気に注意し、インフルエンザがまん延しないよう予防に努めましょう。

- 人混みを避け、外出後の手洗いを徹底しましょう。
- 室内では適度な湿度（50～60%）を保ちましょう。
- 発熱、咳などの症状がある方は、マスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。
- バランスのとれた食事と十分な睡眠を日ごろから心がけましょう。



3 歯ブラシの保管方法について

歯ブラシは使うたびに、歯のむし菌をはじめとする細菌が付着して汚れるのです。保管状態が悪く、不潔な歯ブラシをそのまま繰り返し使用していると、むし歯や口臭などの原因となってしまいますので、以下の点に留意し、使用後の歯ブラシを保管しましょう。



- 歯ブラシは個人専用にし、強めの流水で指を使ってブラシの部分の汚れや歯磨剤をしっかりと洗い流しましょう。
- 洗った後の歯ブラシは、ブラシを上にして清潔な場所で乾燥させ、ブラシが触れ合わないよう個別に保管しましょう。
- 歯ブラシはこまめに交換しましょう。毛先が広がると隙間に細菌が入り込んでしまいます。

4 エアコンを定期的に清掃しましょう

暑い夏が終わり、冷房での使用も終わる頃となります。日常のお手入れのほか、暖房の使用までの間に点検・クリーニングを行い、いつでも安心・安全に使用できるように準備しておきましょう。

日常のお手入れ

- ・2週間に1度のエアフィルターのお掃除を心掛けましょう。

シーズン後のお手入れ方法

- ・晴れた日に、半日ほど送風運転をして、機械内部を乾燥させましょう。
- ・電源プラグをぬいておきましょう。
- ・エアフィルターを掃除し十分乾かして、もとどおりに本体を取り付けておきましょう。

※専門の業者の点検とクリーニングを定期的に受けることをお勧めします。

5 予防接種や健康状態の確認しましょう

日々の子どもの健康管理に加え、各年齢の予防接種の接種状況の確認は大切です。

特に、MRの2回目は就学前までの接種となっているので、接種対象年齢の子どもで、まだ接種していない場合は、予防接種を勧めましょう。

また、職員も健康状態にも留意し、咳が長引く場合には、早めに医療機関を受診しましょう。





保健情報だより

令和元年 11月
新潟市保育課 遠藤 長谷川

1. 11月は乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間です

乳幼児突然死症候群（SIDS：Sudden Infant Death Syndrome）は、12月以降の冬期に発生しやすい傾向があります。それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然死亡してしまう病気です。日本では、およそ6,000人～7,000人に1人の赤ちゃんがこの病気で亡くなっていると推定されています。生後2か月から6か月に多く、まれに1歳以上でも発症することがあります。平成30年には60名の赤ちゃんがSIDSで亡くなっています。

（厚生労働省ホームページに普及啓発用ポスター及びリーフレットが掲載されています。）

2. 就寝時の窒息事故に注意

平成30年、教育・保育施設等の事故報告の全国集計を見ると、死亡事故の多くが0～1歳で発生しており、睡眠中の事故が9件中8件発生しています。さらに、預かり始めの時期における0～1歳児の睡眠中の死亡事故のリスクが高いことが報告されています。

睡眠中の窒息事故を予防するため、子どもの顔が見える仰向けに寝かせ、呼吸状態を確認し、何よりも子どもを一人にしないことが大切です。以下の点に留意し、子どもの安全を守りましょう。

睡眠時のリスク除去のポイント

- ・午睡時、室内は子どもの状態がわかるよう適度な明るさにする。
- ・子どもの顔が見えるように仰向けに寝かせる。
- ・口の中に異物がないか確認する。
- ・睡眠中は、必ず職員が付き添い、子どもを一人にしない。
- ・やわらかい布団やぬいぐるみ等を使用しない。
- ・ひも・ひも状のものを近くに置かない。
- ・ミルクや食べた物等の嘔吐物がないか確認する。
- ・定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を点検し、睡眠チェック表に記載する。

ちゃんと
呼吸していますか？

☆その他の窒息・誤飲事故にも注意しましょう

- ・食事中の食べ物で窒息
- ・おもちゃなど小さな物で窒息
- ・ボタン電池、磁石などの誤飲
- ・医薬品、消毒薬、洗剤などの誤飲

3. 保育園等における感染症対策

感染性胃腸炎やインフルエンザが流行する季節となります。

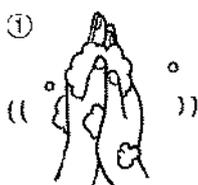
冬を元気に過ごすためにも、外遊びや食事の前に、手洗いをきちんと行いましょう。

また、「電解酸性水」等について正しく理解し、これからの感染症対策にお役立てください。

以下の手順で**30秒以上**、石けんを用いて流水で行いましょう。

- ①液体せっけんを泡立て、手のひらをよくこする。
- ②手の甲を伸ばすようにこする。
- ③両指を組み、指の間を洗う。
- ④指先とつめの間を念入りにこする。
- ⑤親指を反対の手でにぎり、ねじり洗いをする。
- ⑥手首を洗い、よくすすぎ、その後よく乾燥させる。

予防の基本 手洗い



手のひら



手の甲

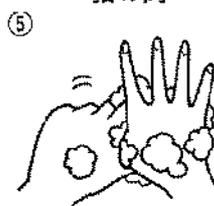
手には見えない汚れや細菌、ウイルスなどがついています。石けんで丁寧に洗います。



指の間



つめの間



親指



手首

電解酸性水について

- ・電解酸性水（別名：酸性電解水、次亜塩素酸水、強酸性水又は微酸性水等）は、厚生労働省が食品添加物として認可しているもので、使用目的は食品の殺菌です。消毒薬として認可しているものではありませんので、嘔吐物等の消毒で、次亜塩素酸ナトリウム溶液と同じように消毒した場合、消毒効果は期待できません。

消毒薬の噴霧について

- ・消毒薬の室内噴霧は、消毒薬の大量吸入や、眼への暴露などによる毒性が問題になります。また、噴霧法は清拭法に比べて効果が不確実といわれています。イメージ的に消毒薬の噴霧から空間除菌を期待するかもしれませんが、空気感染対策の効果はありません。



保健情報だより

令和元年12月

新潟市保育課 遠藤 長谷川

このたよりは、保育園等の職員が共通理解しておきたいミニ保健情報を載せて不定期に発行しています。今回は「病児・病後児保育について」と「運動遊び特集」です。

1. 全区で病児・病後児保育施設を実施します

サービス未提供区域だった北区・南区・西蒲区で、令和2年1月下旬から順次オープンしていきます。オープン状況は、市ホームページ（「病児・病後児保育」）でお知らせしていきます。

また、全区でのサービス開始に伴い、「病児保育」に加えて、あらたに「病後児保育」がスタートします。「病児保育」と「病後児保育」では、お子さまの症状の重さによって、利用可能施設が異なります。利用できる症状のめやすについては、令和2年1月下旬に市ホームページに公開します。

新規開設施設一覧（令和2年1月下旬から順次開設）

区分	施設名称	所在地	連絡先	開所日時 (日・祝・年末年始は閉所)
病後児	こもれび	北区嘉山533 小鳥の森こども園 併設	準備中	月～金 8:00～18:00
	ねむの木	西蒲区巻甲1740 風の子保育園 併設		
病児	みなみっくる	南区上下諏訪木770-1 新潟白根総合病院併設		

市ホームページ（「病児・病後児保育」）



サービスの利用案内のほか、既存施設や利用のための申請書類を掲載しています。
ご利用の前に一度ご確認ください。

（問合先）各病児保育施設

2. 運動遊びでケガをしない健康な体をつくきましょう！～運動遊び特集～

1 1月に上半期事故報告集計でもお知らせしたとおり、3歳～6歳の幼児による事故が全体報告件数の68%を占めています。事故の再発防止具体策に「運動機能を高めるような遊びをする」と記載されていることがよくあります。今回は「運動遊び」について理解を深めていただくため、具体的な「運動遊び」についてご紹介します。



3歳から6歳くらいの幼児の行動

- 走る、飛び跳ねる、登る、ぶら下がるなどの動作ができるようになりますが、危険な行動をとりやすく、また、自分の能力以上の行動をとるために事故が起こりやすい時期でもあります。

幼児の身体特性

- 人間が生まれた時は4等身、成人では7等身から8等身になります。幼児は5等身前後で頭部の比率が大きいのが特徴です。そのため、歩いたり走ったりするとバランスを失いやすく、また筋力や敏しょう性などに欠けるために、物につかまって身体を支えたり早く身をかわすことができず、転倒・転落しやすいのです。

幼児期の運動遊びの大切さ

- 運動遊びを行うことには、○体力・運動能力を向上させる ○基本動作を身に付ける ○心肺機能や骨形成に良い刺激を与える といった効果が期待できます。

幼児期に身につけておきたい36の基本動作

- 5歳頃までに大人の約8割程度まで神経機能が発達するとされています。運動を調節する能力や危険回避となる能力が向上する時期でもあるということです。怪我をしない、健康な体をつくる子どもの動作というのは大きく36種類に分類されています。

(KISS 身に付けておきたい36の動きより引用)

からだのバランスをとる動き



からだを移動する動き

身につけておきたい36の基本動作

人や物を操作する動き

基本動作を身につけるために適した運動遊びは「鬼ごっこ」「遊具を使った運動遊び」「ボールを使った運動遊び」などが挙げられます。

たとえば鬼ごっこでは、基本動作の中の走る・登る・くぐるなどの動きが含まれていますし、走るにしても、追いかける・逃げる・よける、速さや方向を変えるなど動き方に多様性があります。

「運動遊び」は、子ども自身が楽しく体をうごかすこと、様々な動きが経験できるようにすること、発達の特性に応じたあそびを提供することをポイントとしています。園生活で体を動かして遊ぶ様子などを家庭や地域にも伝え、連携し共に育てる姿勢を持つことが大切です。

年齢別運動遊びの具体例（幼児向け）

→ ぜんほきょう（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月全国保育協議会発行会報）に掲載された「身体の発達にあわせた、楽しい運動遊び」より抜粋した具体例を紹介します。

注 → 【遊】：遊び方 【ポ】：ポイント 【準】：準備 【注】：声かけ・注意

《 3～4歳児向け 》

○ワニさん・ラッコさんでくぐり抜け

【遊】ワニさんでは、うつ伏せになって腕と足を動かしながらはうように進み、縄の下をくぐりぬけます。ラッコさんは、仰向けになって足だけを動かして、頭の方に向かって動き、縄の下をくぐります。

【ポ】うつ伏せになって進む「ワニさん歩き」は腕だけではなく足もしっかり使います。

【準】長縄 1 本、縄を 30cm 位の高さに張ります。

【声】「縄に触らないようにしましょう！」と声かけをしましょう

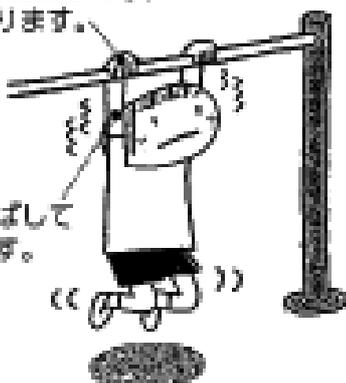


《 3～4歳児向け 》

○おサルさんぶら下がり

順手(またはサル手)
でにぎります。

腕は伸ばして
行います。



【遊】順手（またはサル手）で両ひじは伸ばして鉄棒を握りひざを曲げてぶら下がります。

【ポ】単純な遊びなので、ひじを曲げてみて、どのくらい長くぶら下がっているか友だちと競争する等、工夫しましょう。

【準】外にある低鉄棒。屋内用の移動式低鉄棒。

【注】「おサルさんはぶら下がるのが得意だよ！」すぐ落ちてしまう子には、保育者が腰の位置を支えるようにしてあげましょう。

《 4～5歳児向け 》

○だるまさん

【遊】鉄棒を逆手に握ります。ひじを曲げてぶら下がり、身体を丸めながら顎を鉄棒の上に軽く乗せて、長くぶら下がってみましょう。

【ポ】最初から顎を鉄棒に軽く乗せてから行いましょう。

両ひじをしっかり曲げ、脇の下を閉じるようにすると腕に力が入りぶら下がりやすくなります。

【準】顎を乗せる部分にタオルを巻きつけて

おくと、顎を痛めることなく

何回も挑戦できます。

【注】「だるまさん、だるまさん

にらめっこしましょ！

笑うと負けよ、あっぴっぴ！」と

楽しく声をかけながら遊びましょう。

ひざはびったり
くっつけます。



●だるまさん

お腹に力を入れます。

様々な動作、遊具、環境によって、運動遊びは限りなくあります。

意図的に行う「運動遊び」によって、子ども達の運動を調整する能力や危険回避の基礎となる能力が向上することが期待できます。

日頃関わっている保育者は、子ども達の特性（年齢・発達等）をよく知り、適切な遊びを選択し提供していきますが、何より「遊びながら楽しく体を動かすこと」が大切です。

「運動遊び」で「体力・運動能力の向上」「基本動作の習得」を目指しましょう。

【引用及び参考資料】

○一般社団法人日本公園施設業協会（JPEA）発行「仲よく遊ぼう安全に」

○KISS 身に付けておきたい36の動き

○幼児期運動指針 文部科学省発行

○子育て&教育ひと言コラム 伸芽'Sクラブ

○ぜんほきょう 身体の発達にあわせた、楽しい運動遊び 松本短期大学 名誉教授 柳澤 秋孝

保健情報だより

令和2年6月
こども未来部保育課

このたよりは、保育施設の職員が共通理解しておきたいミニ保健情報を載せて不定期に発行しています。今回は「新しい生活様式における熱中症予防」「虫よけ剤」「紫外線対策」についてです。



新型コロナウイルスの出現に伴い、今夏は、これまでとは異なる生活環境下で迎えることとなります。新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式における熱中症予防行動の留意点は以下のとおりです。熱中症等が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクをはずしたうえで、その他の感染症対策を適切に行うようにしましょう。

また、子どもは体温の調整能力がまだ十分に発達していないので、特に気を配る必要があるので注意していきましょう。

1 新しい生活様式における熱中症予防について

① マスクは適切に使用しましょう。

- ・屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクをはずすようにしましょう。
- ・マスクを着用している場合は、強い負荷の作業や運動は避け、周囲の人との距離を十分にとれる場所では、適宜、マスクをはずして休憩することも必要です。
- ・子どもの場合、午睡中は必ずはずしましょう。

② こまめに水分補給しましょう

- ・のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう。

③ 暑さを避けましょう

- ・冷房時でも換気扇や窓開放によって換気を確保しましょう。この場合、室内温度が高くなるので、熱中症予防のためにエアコンの温度設定をこまめに調整しましょう。

④ 日頃から健康管理をしましょう

- ・日ごろの体温測定、健康チェックは大切です。体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養するようにしましょう。

⑤ 2歳未満の子どもにマスクを使用するのはやめましょう。

- ・乳児の呼吸器の空気の通り道は狭いので、マスクは呼吸をしにくくさせ、呼吸や心臓への負担となります。マスクによって熱がこもり熱中症のリスクが高まり、顔色や口唇色、表情の変化など、体調異常への気づきが遅れることがあるため危険です。
- ・自分でマスクを外すことができない子どもは窒息の危険があります。

子どもがマスクを着用している時は、息苦しさを感じていないかなど十分に注意しましょう。

2 虫よけ剤

虫に刺されると子どもたちは掻き壊してしまいがちで、「とびひ」になることもあるので、園での対応は次のようにするとよいでしょう。



虫（主に蚊）に刺された時

- なるべく早く、園に常備している虫刺され外用薬（ムヒS、レスタミン軟膏など）をぬります。（虫刺され外用薬を希望されない場合もあるので、事前に保護者へ確認をしておきましょう）
- 痒み止めパッチは保護者から持参希望があれば対応します。
- 特にひどく腫れる子は冷やすのも効果的です。

また、最近は天然素材（ユーカリやペパーミント）の虫よけパッチや虫よけリングもありますが、園での管理や運用を考えて、家庭での利用にとどめていただくよう保護者に理解と協力をお願いします。

虫よけ剤の使用

これまでの保健情報だよりでお知らせしていますが、保護者からの持参希望があっても、**園での対応は、虫に刺されるとひどく腫れたり、水疱ができる子に限定**しましょう。

ただし、①習慣的に使用せず、必要な場合に限り使用する。②手や口をぬぐうことがあるので手の甲には使用しない。③顔へは使用しない。④6か月未満の乳児には使用しない、などに留意しましょう。また、スプレーは先生も子どももできるだけ吸い込まないように、一度先生の手の平に吹き付けてから塗りましょう。

虫よけ剤は、スプレータイプ、ウェットティッシュタイプなど、さまざまな商品がありますが、国内で販売される虫よけ剤の多くが、虫の忌避成分「ディート」を含んでいます。

この虫よけ剤に関し、平成17年8月に厚生労働省よりメーカーに対し、6か月未満の乳児には使用しない、6か月以上2歳未満の乳児は1日1回、2歳以上12歳未満は1日1～3回、顔には使用しない、ディート濃度記載の指導がありました。

3 紫外線対策

紫外線は骨形成を助け殺菌効果がある反面、生体への影響が強い紫外線のうち、B領域紫外線（UV-B）の増加が問題になっています。

外遊びは子どもの成長発達にとって大切であることから、紫外線を浴びすぎないように、以下のよう工夫をしましょう。



- 紫外線の強い時間帯の戶外活動はなるべく避ける。
- 外遊びの場所はコンクリートやアスファルト面は極力避け、芝生や土の上、木陰を選ぶ。
- プールなどでは遮光ネットやパラソルを設置し、日陰をつくる。
- ベビーカーでは日よけや帽子を利用し、露出している足などにタオルをかける。
- つばの広い帽子や首筋まで覆う帽子をかぶせる。

保育園における日焼け止め剤の使用は、従来どおり医師の指示で「病気や治療のために紫外線が有害なので日焼け止めクリームが必要」という場合だけとします。

ただし、家で塗ってくることや、登園時に保護者が塗るのは差し支えありません。